

立憲民主党 立憲民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
三宅坂ビル 7F  
Tel. 03-3595-9988  
Fax. 03-3595-9088



2025年5月8日発行 号外

# 立憲民主

RIKKEN MINSHU

2期目への  
挑戦!!

2025年夏の  
参議院選挙(全国比例区)に  
いしかわ たいが

# 石川大我さん

立憲民主党公認を  
決定!!

いしかわ たいが

## 石川大我さん

Profile  
プロフィール

74年、東京生まれ。参議院議員(2019年～)元東京都豊島区議(2期)。明治学院大学法学部卒業、早稲田大学大学院政治学研究科修了。公共経営修士(専門職)。2019年参議院議員選挙において全国から73,799票を得て当選。日本初のオープンリーゲイ(男性同性愛者)の国会議員となる。

国会では、婚姻の平等(同性婚)のほか、LGBTの人権、入管問題など、社会的に弱い立場に置かれた人たちの支援に取り組む。著書「ボクの彼氏はどこにいる?」(講談社)ほか。NHK教育テレビ「ハートをつなごう」、朝日新聞「ひと」欄など、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など出演、掲載多数。

人権護る議員活動続けるー  
石川さん抱負語る



立憲民主党は、2025年夏に予定されている参議院選挙(全国比例区)に石川大我さんを公認候補として擁立することを決定しました。

石川さんは決定を受け、「公認決定から7月の選挙まで短期間となりますが、6年間で得た仲間と共に精一杯、頑張りたいと思います。婚姻の平等を必ず実現する2期目にしたいと思いませんし、米やガソリンなどの物価高対策や、入管収容施設や刑務所等の公の施設での被収容者へ対する人権侵害などの課題も解決していません。これからも弱い立場の人たちに寄り添い、権力と対峙して人権を護る議員活動を続けていきたいです」と抱負を語りました。



### 全国比例区とは?

参議院選挙の全国比例区は、全国どこからでも2枚目の投票用紙に個人名(政党名)を書いて投票する選挙です。地域の公営掲示板にポスターの掲示はありません。政党内で誰が当選するか、は個人名の得票数が多い順番で当選します。

全国比例区は  
すべての有権者が投票  
できる選挙区です!

2枚目の  
投票用紙



投票

石川大我事務所  
<http://www.taigaweb.jp/>

〒100-8962  
東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1113号室  
TEL. 03-6550-1113 MAIL. taigarikken@gmail.com

石川大我  
公式 LINE





2024.4.19.本会議にて質疑

これまでの6年間で文教科学委員会（2年）、内閣委員会（2年）、法務委員会（2年）、予算委員会（3年）、倫理選挙に関する特別委員会（野党筆頭理事）、消費者問題に関する特別委員会（野党筆頭理事・2年）を務めてきました。全国のLGBTプライドパレードは24カ所、100回以上参加してきました。入管の収容所や刑務所、基地の予定地など、光の当たらない場所への視察も積極的に行なっています。これまでの発言などをお届けします。

## 大学入学共通テストの記述式試験の採点方法の杜撰さを指摘。導入を撤回させる！

（2019年12月5日 文教科学委員会の要約）

石川大我：プレテストの結果ですけれども、受験生が6万7745人、その中でサンプル調査をして2万6000のサンプルを取り出した。そのところ採点ミスが76件発見された。そのミスが0.3%ということか？

政府参考人：そういうプロセスで検証。

石川大我：これは大問題。国語の受験生55万人。0.3%を掛けると、1650人に採点ミスが発生する。1650人も採点ミスが起こる試験ができるのか。

政府参考人：採点の誤りが生じないように徹底してまいる。

石川大我：これまでのセンター試験はマークシート式。採点ミスは30年間ゼロか。

政府参考人：そのとおり。

石川大我：受験生の皆さんの不安を解消するため、延期若しくは中止をするしかない。

※このあと、記述式試験の導入は延期された。



2020.1.30 参・予算委員会で初質問

## 難民・避難民の命を奪う入管法改正案に反対！

（2023年6月8日 法務委員会質疑の要約）

石川大我：この法案（改正入管法）が成立すれば、迫害を受けた母国に強制送還され、逮捕をされ、投獄、拷問、虐殺を受ける、そうした迫害が待っている母国に強制送還されると恐怖に震えている人がいることを知ってください。

私たちは、その方々の命を救わなければ

ならないと思います。

もし、人間としての温かさ、つらさ、大変さ、喜び、そういったものに与党の皆さんが触れ合ったのならば、決してこの法案には賛成することができないと思います。

人の命を奪う法案には絶対に反対です。

## 婚姻の平等（同性婚）について

（2024年5月8日 参議院憲法審査会）

石川大我：「この審査会に注目、期待をしてくださっている全国1千万のLGBT当事者の皆さんにお話しします。私たちはここにいて声を全国で上げてください。もう人権侵害を受けるのはたくさんだと声を上げてください。私たちには幸せになる権利があ

ると声を上げてください。私たちLGBTの人権、婚姻の平等を無視し続ける自民党から一刻も早く政権交代を実現し、希望ある未来をこれから生まれてくる日本国民のために創っていく、その決意と全国への呼びかけをもって、私の意見表明とします」

## LGBT当事者も回答しやすい国勢調査への改善を要望

（2025年3月12日 参議院予算委員会質疑の要約）

石川大我：秋の国勢調査で、同性パートナーを持つ人が、（男女の事実婚と同じように）一方が世帯主、もう一方が配偶者と回答しても良いのか？

政府参考人：ありのまま御回答いただくということ。世帯の方が御判断されている形で、ありのまま、御回答いただければ。

石川大我：秋に今度国勢調査始まる。非常に大きな答弁。全国の当事者の皆さん、そして同性カップル

でお住まいの皆さんは、一人が世帯主、そしてもう一方が配偶者という形でこれ答えてもいいとお墨付きを頂いた。私たちはここにいてということ。LGBT当事者の皆さんは国勢調査で示すことができる。



2023.09.17 さっぽろレインボープライドにて